

平成24年9月分と10月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 9月は東区だけで発見・駆除されていたものが、10月に中央区と早良区でも発見・駆除されたが、個体数が少ないこと等から、何らかの要因で運ばれたセアカゴケグモが、スポット的に発見されたものと推察される。
2. 以下のことから個体数については季節的变化に伴う気温低下の影響が考えられる。また、定期的・計画的な駆除による効果も示唆される。
 - (1) 9月に比べ10月は定期的・計画的な駆除において駆除件数が増えているが、セアカゴケグモの駆除数は減っている。
 - (2) 9月に比べ10月は発見・通報に伴う駆除が減少している。
 - (3) 9月に比べ10月はセアカゴケグモの駆除数が約35%減少している。
3. 卵のうについては、9月に比べ10月が発見・駆除された数が増えているが、9月分では、卵のうの数をほとんど数えていなかったため比較ができない。